

# 2025年度 市川市立稲越小学校経営方針（案）

## 1 学校教育目標

**豊かな心をもち、生き抜く力をはぐくむ**

たのしく なかよく 元気よく

～家庭、地域と共にある学校を目指して～

## 2 めざす子ども像

- （１）すすんで学ぶ子 知（頭）
- （２）思いやりのある子 徳（心）
- （３）たくましい子 体（体）
- （４）地域や社会とのつながりに意欲的な子ども

## 3 めざす学校像

- （１）明るくあいさつと笑顔あふれる元気な学校
- （２）基礎・基本を確実に身につけられる授業の充実した学校
- （３）地域とともに歩む学校
- （４）教職員がライフワークバランスを考えながら一致団結して、組織的に教育活動を展開できる学校

## 4 めざす教職員像

- （１）子どもと関わるのが好きで、子どもに深い愛情を持つ教職員
- （２）指導力の向上を目指し、自己研鑽に励むことで専門性を高める教職員
- （３）学校運営への高い参画意識を持ち、創意工夫とチームワークにより教育活動を推進する教職員
- （４）全体の奉仕者としての使命と責任、意欲と情熱を持ち続ける教職員

# 2025年度稲越小学校経営の重点（案）

市川市立稲越小学校長 藤枝 尚子

## 1 経営の基本的な考え方

教育目標の具現化を図るために、全職員の共通理解と協力のもと、一人一人を大切に、個を丁寧に見つめ、子どもたちが学ぶ楽しさ・わかる楽しさを実感させるとともに、安全・安心が保障された環境の中で、家庭・地域との連携を大切にし、子ども一人一人が主体的に、人と関わり合いながら学習に取り組むことのできる、創意と活力ある学校づくりを行う。

## 2 経営の方針

**「豊かな心を持ち、生き抜く力をはぐくむ児童の育成」**を目指し、

- (1) 子どもの命を最優先に考え、安全安心な学校を目指す。
- (2) 一人一人の児童理解を深め、個々のニーズに応じた支援に努める。
- (3) グローバル社会で、自分らしくのびのびと活躍できる子どもを育てる。
- (4) 子どもの健全な成長を願い、協働の精神を大切にし「チーム稲越」で取り組む。
- (5) 日々の授業を大切に、「決めた」「わかった」「できた」という喜びと感動を味わわせる。

## 3 学校教育目標の具現化に向けた手立てと本年度の重点

「命」の大切さに気づかせ、命あることに感謝するとともに、自分や他人を大切にし、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てるために、人や社会、自然環境とのつながりを大切に保護者、地域とともにある学校づくりを目指す。

**「たのしく なかよく 元気よく」**

○ たのしく ≪ 考え、判断する子ども ≫ （知・・・頭）

- ・ 学ぶ楽しさがわかり、自己決定ができる。  
(学ぶことがワクワクする、学ぶことが楽しい「知的遊園地」でありたい。)
- ・ 基礎的・基本的知識理解のもと、進んで考えたり行動したりする。
- ・ めあてをもって頑張ることができる。

○ なかよく ≪ 自分も相手も大切にできる子ども ≫ （徳・・・心）

- ・ 優しい心で相手の気持ちを理解しようとし、相手を思いやった行動ができる。
- ・ 子ども同士、子どもと教職員の温かなつながりをもつ。
- ・ ぽかぽかグループ（異年齢集団）での活動を通して、下級生の手本となる言動とそれに憧れる気持ちの相互関係を大切にする。

○ 元気よく ≪ 体をきたえ、ねばり強く取り組む子ども ≫ （体・・・体）

- ・ 健康で心豊かな生活を目指すため、健康第一とし、自分でめあてを持って継続的に体をきたえる。
- ・ 自分がやろうと決めたことを、がんばり続ける力をもつことができる。

○ ≪ 地域や社会とのつながりに意欲的な子ども ≫

- ・ 子どもの意欲を大切にし、子ども発信の活動や行事を作り上げる。

(1) 確かな学力づくりを目指して

- ・ 「生涯学習の基礎基本となる事柄の定着」、「学ぶ喜びの実感」と「創造性」を培う。
  - ① 学びの入り口に立つ子どもを「疑問解決探偵団」とし、好奇心を継続していく。
  - ② 「生徒指導の機能を生かした」授業づくりと学習環境づくりに努める。  
→ 「学ぶ楽しさ」「人と学びあうよさ」の実感



- ⑧ 教材・教具の工夫や自己評価の工夫を通して楽しく体力を高められるようにする。
  - ⑨ 業間休み等で、体育的活動を取り入れて、身体活動の工夫を図る。
  - ⑩ 机と椅子の高さ調整をし、正しい姿勢を保つことで心身の保持増進に努める。
- (4) 特別支援教育の推進を目指して
- ・すべての子どもたちが大切であることを基本とした、特別支援教育を推進する。
    - ① 市川スマイルプランの効果的活用を図る。
    - ② 誰でもわかりやすい教室環境や授業、ユニバーサルデザイン化を進める。  
(東国分爽風学園共通項目)
    - ③ 専門機関との連携を図る。
- (5) 保護者・地域との連携、信頼される学校づくりを目指して
- ・「今日も稲越小学校に来てよかった。」と感じる学校づくりを推進する。
    - ① 来訪者や電話でのさわやかで温かい対応に努める。
    - ② 稲越小学校の教育活動の理解を図る地域への積極的な広報活動を行う。
    - ③ P T A や地域との行事等を通して交流を深める。
    - ④ 学校運営協議会を中心に、家庭、自治会、関係機関等との連携を図る。
    - ⑤ 教職員も地域の諸行事に参加し、自治会等の方々とのコミュニケーションを深める。
    - ⑥ 須和田の丘支援学校小学部(稲越校舎)との連携・交流を深める。  
(なかよし給食、合同避難訓練、交流及び共同学習等)
    - ⑦ 東国分爽風学園の学校や近隣の幼・保・小・中・高と交流する。
    - ⑧ 学校評価の実施・公表により、教育の共有化を図るとともに、望ましい学校改善に努める。
    - ⑧ モラルアップ委員会の活性化を図り、「自校から不祥事を絶対に出さない」学校づくりを行う。(ボトムアップの研修の実施)
- (6) 安全・安心な学校づくりを目指して
- ① 防犯・防災・交通安全等、安全教育に関する指導を計画的かつ充実させ危険予知・予防能力を育成し、事故防止に努める。  
\*危険箇所の把握と適切な対応(できる限り、その日のうちに対応)
  - ② 安全・安心の学校づくり(危機管理・連絡方法の充実)に積極的に取り組み、保護者・地域の見守りを充実させる。  
\*防犯、防災体制の整備改善と、小学校拠点校構想との連携強化。
- (7) 危機管理に強い学校づくりを目指して
- ① 学校行事等の精選(実施内容の検討等を積極的に推進する。)
  - ② 感染症対策等も含めた、危機に備える学校づくりを推進する。
  - ③ 学校の置かれている状況を踏まえた学校経営の推進。